

秋のきのこ狩りの楽しさ

赤石溪流の10月末は、紅葉から落葉の森へと一変する。冬を迎える寂しい森に見えてくるが、ブナが種を着けている時は、ツキノワグマ・ニホンザルにしてみれば、冬眠前の大事な食料確保に動いている時期でもある。



【白神のブナ林秋の王様ナメコ】

ちなみに11月15日は赤石溪流線の通行止めの日、また、狩猟解禁日でもある。初冬のブナ林を歩く場合、間違っても黒系の雨具を羽織ってはならないこの時期になると猟友会のメンバーが鉄砲を持って動いている場合がある。間違っても撃たれないように派手な色の雨具等を着て採取するように勧めたい。また、クマ避け鈴とクマ撃退スプレーを腰に下げ、冷え込みが厳しい峠道を歩くようにすべきと思う。ラジオの音を高くして山に入るのも一つの熊対策でもある。この時期の早朝は、手袋を履いていても、手の感覚がなくなるほど寒い。腰にホッカイロを入れながら、歩くのも一つの手である。山の澄んだ空気は凜として清々しく、降り積もった落葉は足裏に優しく堆積している。秋の楽しみの一つに、キノコ採りがある。そのキノコでも白神山地の場合は、ブナの倒木や枯れ木などに発生する、ブナカノカがある。ブナハリタケもある。真っ白で発見しやすいキノコで、ブナ林のキノコの中では、最も香りが強く、折り重なるように大発生するので、一箇所見つけると、食いきれないほど大量に採取できる。結構、秋を待たずとも9月ぐらいから生えている場合があるので、お楽しみである。手で採取すると、ゴミや泥がつき、後の処理が大変なので、ナイフで丁寧に切り取るのが採取のコツである。雨の日以外でも水分を多量に含んでいるので、両手で絞り出すと、一時的に縮むが、スポンジのようにすぐ元の形に戻る。繊維質で丈夫なキノコである。戻ったら不純物や虫を取り除いてからバケツに塩を少々入れ、数時間漬けておくといい。後は食べる量に合わせて、小さな袋に入れて冷凍庫で保存すると